

令和4年度 各務原市立桜丘中学校 学校経営の全体構想

<目指す生徒像>

新しい時代に対応し、よりよく生きるための基礎力を身に付けた生徒

- 目標達成に向け計画性をもって粘り強く取り組む力
- 相互理解に努め、対人関係を調整し、集団の中で自分のよさを発揮する力
- 新しい知識や技能、見方・考え方を積極的に身に付けようとする力
- 獲得した知識や情報を活用し、考えたり表現したりして課題を解決する力
- 仲間と一緒に課題を解決していく力

<各務原市の教育> 誇り・やさしさ・活力のある生徒
～一人一人が学ぶ喜びを実感～
・たくましく生き抜く力の育成 ・安心して学べる教育環境の提供

<学校の教育目標> 志をもって生きる

常に自分を高める 『向上』
ルールやマナーを守る 『礼節』
感謝と思いやりの心をもつ 『思いやり』

<学校課題>

- 一人一人の実態に応じた指導で主体的に学ぶ態度を育成するとともに、基礎的な学力を身に付けさせる
- 多様な考えや生き方を認め合い、互いを尊重し、思いやりの心を高める
- 地域や保護者との連携を深めるとともに、自治的な活動を通して元気で活気のある学校をつくる

<目指す教師像>

組織力・機動力・自己啓発

- よく工夫し、わかりやすい授業をする教師
- 意識を高くもち、指導力向上に努める教師
- 家庭、地域との連携を大切にする教師
- 職員集団の和を大切にする教師
- 心と体にゆとりをもって子どもに向かう教師

<自主性・自律性・協同性を育む教育活動の創造>

1. 仲間とともに学び合う授業づくり

- ①「これをやろう、なるほど、これを学んだ」のある授業
 - ・明確な課題と見通し
 - ・意図のある小集団交流の位置付け
 - ・自分の学びを自覚する振り返り
- ②ICTを活用した、学習の個別化、最適化
 - ・スタディログの集積と活用による授業改善
 - ・個別の学習計画による学習の効率化

2. 当事者意識をもった学級・学校づくり

- ①日常活動の充実
 - ・願いの共有と活動の継続
 - ・相互評価によるよさの価値付け
- ②達成感を味わえる活動の工夫
 - ・企画を楽しむキャンペーン活動の充実
 - ・組織を活かした活動づくり
 - ・ボランティア活動の推進

3. 健康で安全な生活づくり

- ①一人一人に居場所がある学級経営
 - ・いじめ未然防止と教育相談の充実
- ②命を自分で守り切ることができる力の育成
 - ・危険予知能力、危機回避能力の育成

<地域と共にある学校づくり>

1. 「さくら学園」のシンカ・カイゼン

- ①校区小学校との連携強化
 - ・生活習慣、学習習慣の基盤づくり
 - ・オンラインを活用した交流活動
- ②地域組織との連携強化
 - ・「あいさつ」を核としたかかわりづくり
 - ・防犯、防災体制の構築

2. 地域、保護者の活力の導入と学びの発信

- ①学校支援ボランティアの拡充
 - ・地域人の特技や専門性を発揮する場の提供
 - ・安心して学べる環境整備支援
- ②学びを地域へ発信する活動の推進
 - ・生徒による社会貢献活動（地域ボランティア活動）の場の設定

3. 学校評価の質の向上

- ・学校と地域が連携した、PDCAサイクルの確立

<対応力の高い自律型組織運営の実現>

1. 職員個々の対応力向上

- ①職員個々のスキルアップ
 - ・教育公務員としての専門性の錬磨
 - ・ICTを活用した新しい教育技術の習得活用
 - ・根拠に基づいた共通行動の徹底
ねらいや願いの共有
法令の遵守
- ②情報の共有と活用
 - ・事後検証の重視
成功、失敗事例の経過の可視化と共有
 - ・生徒や外部からの視点による想定を重視

2. 自律型組織運営の実現

- ①主体的に考える職員
 - ・危機感の共有（リスク、コスト）
 - ・豊富な経験と得意を活かせる校務分掌
 - ・精度の向上に比重をかけた企画、運営
- ②迅速に動ける仕組み
 - ・サーバントリーダーシップの浸透
 - ・よいと思ったことは「まずやってみる」
 - ・一何の原則の徹底
変化や違和感、危険信号を即時、随時に
- ③改善のための対話と協働
 - ・業務の新しい標準化のための創意工夫
子どものため 地域のため 職員のため
 - ・職員間のよさみつけ